

今日のトピック 2023年9月の注目イベント
FOMCでドットチャートの24年末の政策金利はどうなる

- パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長は8月25日、経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」で、ややタカ派的なトーンを交えつつ、追加利上げと据え置きは、データ次第で決める方針を改めて明言しました。このため米経済指標では、8月の雇用統計や消費者物価指数が注目されます。また、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、利上げの有無に加えて、FOMC参加者らの政策金利見通し（ドットチャート）において、2024年末の政策金利が6月時点から引き上げられるのかが注目されます。FRBの利上げサイクルは最終局面にあるとみられるなか、利上げ終了後にどれだけ長く政策金利を維持するかが焦点となりそうです。
- 欧州中央銀行（ECB）のラガルド総裁は「ジャクソンホール会議」で、インフレ抑制へ金融引き締めを続ける姿勢を示しました。9月のECB理事会では、データ次第で利上げが決定されるため注目されます。
- 中国の経済指標では、不動産市場の低迷により、景気の回復ペースが大きく鈍化している中国景気を見通す上で、8月の物価統計や小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資などが注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年9月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:8月雇用統計 、8月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 6日:8月ISM非製造業景況指数、7月貿易収支	5日:ユーロ圏7月PPI 6日:ユーロ圏7月小売売上高	1日:中国8月財新製造業PMI 5日:豪州金融政策決定会合、中国8月財新非製造業PMI 6日:豪州4-6月期GDP 7日:中国8月貿易収支 9日:中国8月CPI、8月PPI	1日:4-6月期法人企業統計 5日:7月家計調査 7日:7月景気動向指数 8日:7月毎月勤労統計、7月国際収支、8月景気ウォッチャー調査
13日:8月消費者物価指数(CPI) 14日:8月生産者物価指数(PPI)、8月小売売上高 15日:8月鉱工業生産、9月ミシガン大学消費者センチメント指数 19-20日:FOMC	13日:ユーロ圏7月鉱工業生産 14日:ECB理事会 15日:ユーロ圏7月貿易収支 20日:イギリス8月CPI 21日:イングランド銀行金融政策委員会 、ユーロ圏9月消費者信頼感指数	12日:インド8月CPI 15日:中国8月小売売上高、8月鉱工業生産、8月固定資産投資 20日:ブラジル金融政策決定会合	13日:8月企業物価指数 14日:7月機械受注
22日:9月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 26日:7月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、9月コンファレンスボード消費者信頼感指数 29日:8月個人所得、8月個人消費支出(PCE)、8月PCEデフレター	22日:ユーロ圏9月製造業・非製造業PMI 25日:ドイツ9月IFO企業景況感指数 29日:ユーロ圏9月CPI	21日:トルコ金融政策決定会合、南アフリカ金融政策決定会合 28日:メキシコ金融政策決定会合 29日:中国財新9月製造業・非製造業PMI 30日:中国9月製造業・非製造業PMI	21-22日:日銀金融政策決定会合 22日:8月全国CPI 26日:8月企業向けサービス価格指数 29日:9月東京都都区部CPI、8月小売業販売額、8月鉱工業生産、8月住宅着工件数

(注) 2023年8月25日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）

ここもチェック! 2023年7月27日 2023年8月の注目イベント
2023年6月28日 2023年7月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。